

# 第1学年 算数科学習指導案

平成28年6月9日(木) 第5校時

四万十市立具同小学校 1年2組 児童数21名

授業者 宮崎 奈苗

1. 単元名 いくつといくつ(数の意味と数の表し方)
2. 単元について

## (1) 単元観

本単元で扱う10までの数の構成は、学習指導要領には以下のように位置づけられている。

### 第1学年 A数と計算

(1) ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることができるようにする。

エ 1つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係付けてみること。

本単元のねらいは、1つのまとまりと見ていた数の概念から、「8は2と6」というように、1つの数を他の数と関係付けて考えられるようにすることである。5から10までの数の合成・分解について理解を深めることは、たし算・ひき算につながる素地となり、特に10の構成の理解は、十進数の理解の基礎として必要不可欠である。ここでは、数の合成・分解について具体物の操作やゲームを通して繰り返し経験していくことで理解を深め、習熟していく。活動の中で量感を身につけ数についての感覚を豊かにするとともに、順序よく並べることできまりに気づき、一方が決まると残りの数が分かるという関数的な見方をさせることで、数について多面的な考え方ができるようにする。

## (2) 児童観

本学級の児童は、入学してから「なかまづくりとかず」、「なんばんめ」の単元を学習してきた。「早くノートに書きたい」、「発表したい。」と意欲のある児童がほとんどである。体育や音楽では、「1、2、3、…」と数を数えながら5人組や7人組を作る仲間づくりゲームを楽しみ、国語では3つの音の言葉探しをするなど、他教科でも数を数える経験を重ねている。「なかまづくりとかず」では、1つの絵を見て「赤い帽子は3個です。」「白い帽子は2個です。」「帽子は全部で5個です。」と多様な考え方ができる児童もいた。その一方で、6、7、8、9、10の数になるとブロックや数図カードを1つつ数えないと分からない児童や、大小関係を比較するのに時間がかかる児童もいる。

## (3) 指導観

本単元では、5から10までの数の合成・分解について具体物や半具体物の操作を通して学習していく。単元全体の学習が単調なものにならないように、毎時間の前半部分では児童の意欲が高まるような活動を取り入れることにした。友だちと関わりながら取り組んだ活動の結果から、数の合成・分解についてきまりを見つけていけるようにしたい。活動する場面では、前時までの学習内容を比較しやすいように教室内に掲示をしておき、既習内容を生かしたり比べたりして考えられるようにする。そして、授業の後半部分では全体で意見を交流し合い、数の構成を整理していく。その際、1年生なりに理由を言う場を設定し、自分の思いを伝えられるようにしていきたい。終末にも算数ノートに気づきを書く時間をとり、言葉や絵で1時間の学習の発見を表現できるようにしたい。本時では10の構成を扱う。児童は2人組でジャンケンをし、勝った方が1つブロックを取るゲームに取り組む。10個のブロックを取り合い、その結果から、10は2つの数に分けられることを体感させたい。また、10の構成を整理する中で、一方の数が増えるともう一方が減ることなどをブロックや数図カードで確認していき、理解を深めていきたい。

### 3. 単元の目標

10までの数の構成を理解し、数を多面的にみることができるようにする。

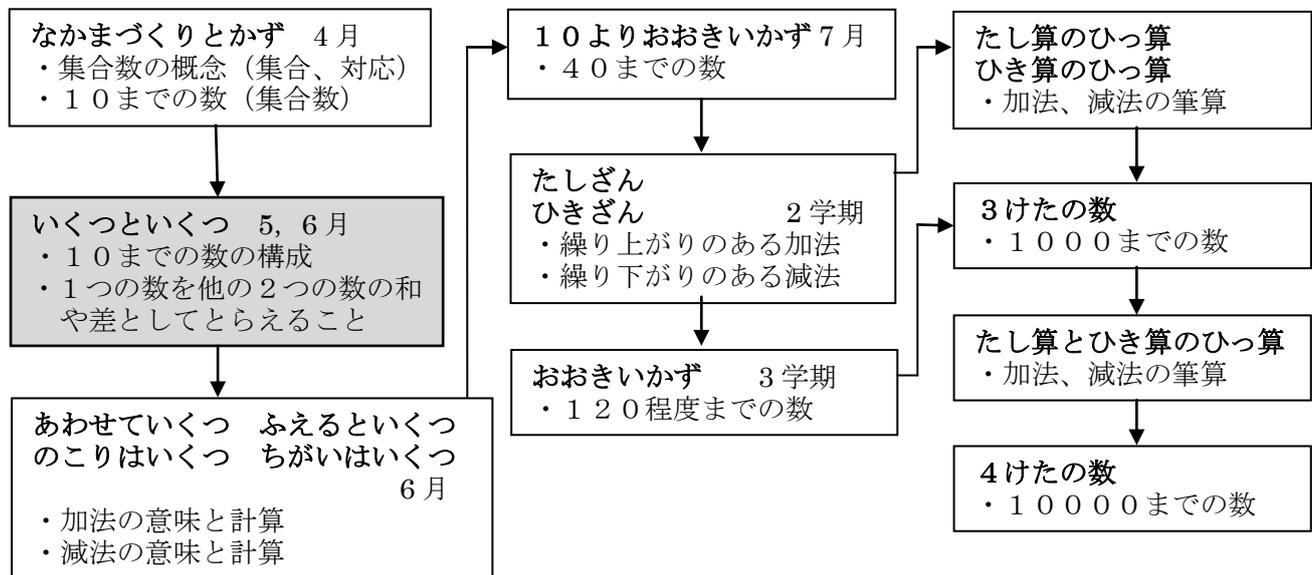
### 4. 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形に ついての技能	数量や図形についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>1つの数を他の数を用いていろいろな組み合わせを考えて表そうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10までの数について、1つの数を他の2つの数の和や差としてとらえ、言葉や半具体物などを用いて表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10までの数の合成、分解ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10までの数の合成を理解している。</li> </ul>

### 5. 関連と発展

第1学年

第2学年



### 6. 指導と評価の計画 (全8時間)

時	目標	学習活動	おもな評価規準
1 ・ 2	○5の構成を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブロックを用いた活動を通して、5はいくつといくつに分けられるか考える。</li> <li>5の構成をまとめる。</li> <li>じゃんけんゲームをして5の構成を確かめる。</li> </ul>	<b>関</b> 5の構成に関心をもち、ブロックなどを用いていろいろな組み合わせを考えようとしている。 <b>知</b> 5の構成を理解している。
3	○6の構成を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉入れゲームを通して、6はいくつといくつに分けられるか考える。</li> <li>6の構成をまとめる。</li> <li>カードを用いて練習問題に取り組む。</li> </ul>	<b>技</b> ブロックなどを用いて、6の合成、分解ができる。 <b>知</b> 6の構成を理解している。
4	○7の構成を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードゲームを通して、7はいくつといくつに分けられるか考える。</li> <li>7の構成をまとめる。</li> <li>カードを用いて練習問題に取り組む。</li> </ul>	<b>技</b> おはじきなどを用いて、7の合成、分解ができる。 <b>知</b> 7の構成を理解している。

5	○8の構成を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャンケンゲームを通して、8はいくつといくつに分けられるか考える。</li> <li>8の構成をまとめる。</li> <li>カードを用いて練習問題に取り組む。</li> </ul>	<b>技</b> おはじきなどを用いて、8の合成、分解ができる。 <b>知</b> 8の構成を理解している。
6	○9の構成を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャンケンゲームを通して、9はいくつといくつに分けられるか考える。</li> <li>カードを用いて練習問題に取り組む。</li> </ul>	<b>関</b> 9の構成に関心をもち、ブロックなどを用いているような組み合わせを考えようとしている。 <b>知</b> 9の構成を理解している。
7 (本時)	○10の構成を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャンケンゲームを通して、いくつといくつで10になるのか考える。</li> <li>10の構成をまとめる。</li> <li>カードを用いて練習問題に取り組む。</li> </ul>	<b>技</b> 数図カードを用いて、10の合成、分解ができる。 <b>知</b> 10の構成を理解している。
8	○10の構成の理解を確実にする。	[やってみよう] <ul style="list-style-type: none"> <li>10に対する補数を言う活動に取り組む。</li> <li>10を合成する活動に取り組む。</li> </ul>	<b>考</b> 10に対する補数を考える活動を通して、10を多面的にみて表現している。 <b>知</b> 10の構成を理解している。

7. 本時の計画 (7/8時間)

- (1) 目標 10の構成を理解する。
- (2) 評価規準 **技**数図カードを用いて、10の合成、分解ができる。  
**知**10の構成を理解している。
- (3) 準備物 数カード 数図カード ブロック
- (4) 展開

	学習活動【主な発問 (★)】	指導上の留意点 (○) と評価 (□)
問題把握 5分	1. 前時の復習をする。 2. 本時の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">10をつかって、ひみつをみつけよう。</div> ★今日のがんばりポイントは？	○教室内の掲示物を使って復習問題を提示する。 ○前時の子どものまとめから、本時の課題につながる。 ○「感想まで言えたらいい。」「説明できたらいい。」など、本時の評価を子どもの発言をもとに板書する。
自力解決 10分	3. ルールを確認し、ゲームに取り組む。	○ホワイトボードで提示をする。 ①赤色か黄色のシールを持つ。 ②勝ったら1つはる。 ○教師は児童と一緒に参加する。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">練り上げ 20分</p>	<p>4. ゲームの結果を発表する。 &lt;予想される考え&gt; ・ 4対6になった。など</p> <p>5. いくつといくつが分かりやすいように、整理する。 ★ほかにはないのかな。 ★もっと見やすくないかな。</p> <table style="border: none;"> <tr><td>●○○○○○○○○○○</td><td>1と9</td></tr> <tr><td>●●○○○○○○○○○○</td><td>2と8</td></tr> <tr><td>●●●○○○○○○○○○○</td><td>3と7</td></tr> <tr><td>●●●●○○○○○○○○○○</td><td>4と6</td></tr> <tr><td>●●●●●○○○○○○○○○○</td><td>5と5</td></tr> <tr><td>●●●●●●○○○○○○○○○○</td><td>6と4</td></tr> <tr><td>●●●●●●●○○○○○○○○○○</td><td>7と3</td></tr> <tr><td>●●●●●●●●○○○○○○○○○○</td><td>8と2</td></tr> <tr><td>●●●●●●●●●○○○○○○○○○○</td><td>9と1</td></tr> </table> <p>&lt;予想される考え&gt; ・ 3と7で10になった。 ・ いろいろな組み合わせがある。 ・ 図が階段みたいになっている。 ・ 左の数が増えると反対が減っている。 ・ 9は同点がなかったけど、10は同点がある。 ・ 他にも0と10があるよ。</p>	●○○○○○○○○○○	1と9	●●○○○○○○○○○○	2と8	●●●○○○○○○○○○○	3と7	●●●●○○○○○○○○○○	4と6	●●●●●○○○○○○○○○○	5と5	●●●●●●○○○○○○○○○○	6と4	●●●●●●●○○○○○○○○○○	7と3	●●●●●●●●○○○○○○○○○○	8と2	●●●●●●●●●○○○○○○○○○○	9と1	<p>○子どもの発言の順に板書をする。</p> <p>○全ての組み合わせが出た場合、順番を整理させることで10の構成についての理解を深める。 ○全ての組み合わせが出なかった場合は、他の組み合わせがないか投げかける。</p> <p>○9までの数の構成の学習を振り返りながら、理由を言ったり、ブロックを操作して説明をしたりするように声かけをする。</p> <p><b>技</b>数図カードを用いて、10の合成、分解ができる。</p>
●○○○○○○○○○○	1と9																			
●●○○○○○○○○○○	2と8																			
●●●○○○○○○○○○○	3と7																			
●●●●○○○○○○○○○○	4と6																			
●●●●●○○○○○○○○○○	5と5																			
●●●●●●○○○○○○○○○○	6と4																			
●●●●●●●○○○○○○○○○○	7と3																			
●●●●●●●●○○○○○○○○○○	8と2																			
●●●●●●●●●○○○○○○○○○○	9と1																			
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ 10分</p>	<p>7. 本時の学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>いろんな10ができた。 11とおりのつくりかたがあった。</p> </div>	<p><b>知</b>10の構成を理解している。 ○キーワードをもとに、子どもの言葉でまとめられるようにする。 ○時間があれば練習問題に取り組む。</p>																		

8. 板書計画

	<p>めあて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">10をつくって、ひみつをみつけよう。</span></p>	<p>☆せつめいをする。</p>																																				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>るうる ① しいるをもつ。 ② かったら1つはる。</p> </div>	<table style="border: none; margin: auto;"> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td><td>と</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</td><td>●○○○○○○○○○○</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td><td>と</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8</td><td>●●○○○○○○○○○○</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td><td>と</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td><td>●●●○○○○○○○○○○</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td><td>と</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td><td>●●●●○○○○○○○○○○</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td><td>と</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5</td><td>●●●●●○○○○○○○○○○</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6</td><td>と</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4</td><td>●●●●●●○○○○○○○○○○</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7</td><td>と</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</td><td>●●●●●●●○○○○○○○○○○</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8</td><td>と</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</td><td>●●●●●●●●○○○○○○○○○○</td></tr> <tr><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">9</td><td>と</td><td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</td><td>●●●●●●●●●○○○○○○○○○○</td></tr> </table>	1	と	9	●○○○○○○○○○○	2	と	8	●●○○○○○○○○○○	3	と	7	●●●○○○○○○○○○○	4	と	6	●●●●○○○○○○○○○○	5	と	5	●●●●●○○○○○○○○○○	6	と	4	●●●●●●○○○○○○○○○○	7	と	3	●●●●●●●○○○○○○○○○○	8	と	2	●●●●●●●●○○○○○○○○○○	9	と	1	●●●●●●●●●○○○○○○○○○○	<div style="margin-bottom: 10px;"> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">3と7</p>  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">かいだん</p>  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">どうてん</p>  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">みぎがふえる と・・・</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ 10は、いろいろなくみあわせで できる。</p> </div>
1	と	9	●○○○○○○○○○○																																			
2	と	8	●●○○○○○○○○○○																																			
3	と	7	●●●○○○○○○○○○○																																			
4	と	6	●●●●○○○○○○○○○○																																			
5	と	5	●●●●●○○○○○○○○○○																																			
6	と	4	●●●●●●○○○○○○○○○○																																			
7	と	3	●●●●●●●○○○○○○○○○○																																			
8	と	2	●●●●●●●●○○○○○○○○○○																																			
9	と	1	●●●●●●●●●○○○○○○○○○○																																			